

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年6月30日
	(第5回)
目標年度	令和18年度
市町村名 (市町村コード)	神戸市 28100
地域名 (地域内農業集落名)	淡河町南僧尾地区 (南僧尾集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	53.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	41.0 ha
② 田の面積	49.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	4.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	48.4 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

南僧尾地区は淡河町の北西部に位置し、南北方向に国道428号線が通過している。圃場整備は完了しており良好な区画を保っているが、地区の地形は丘陵部の棚田である。農家世帯は28戸で、水田農業を中心とした農業が営まれている。また、肉用牛の繁殖・肥育一貫の農業法人がある。近年、地区内農業者の高齢化及び後継者不足により、担い手の確保、地域農業の活性化が望まれる。また、鳥獣害による農作物被害があるため、対策に取り組む必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

既存の農業用水溜池の浄化を実施を皮切りに、現状でも一定の評価を得ている米の価値を更に高めていく。また積極的に集落内への移住促進を進め、新旧の住民で協力しながらIT技術の活用等も含めた新しい農業のあり方や可能性を模索していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	7.5	%	将来の目標とする集積率
			30.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する団地面積の拡大を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域全員参加で話し合いを進め、自治会、農会、里づくり協議会、集落営農組織、農業委員が協力して担い手を中心に集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
自立できる魅力有る農業を目指すため、農地バンクを利用せず集落全体で積極的に農地を活用する。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業は完了している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
既存の経営体の育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
必要に応じて活用を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨その他		

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。

⑦多面的機能支払制度および中山間地域等直接支払制度を活用し、農地保全に努める。

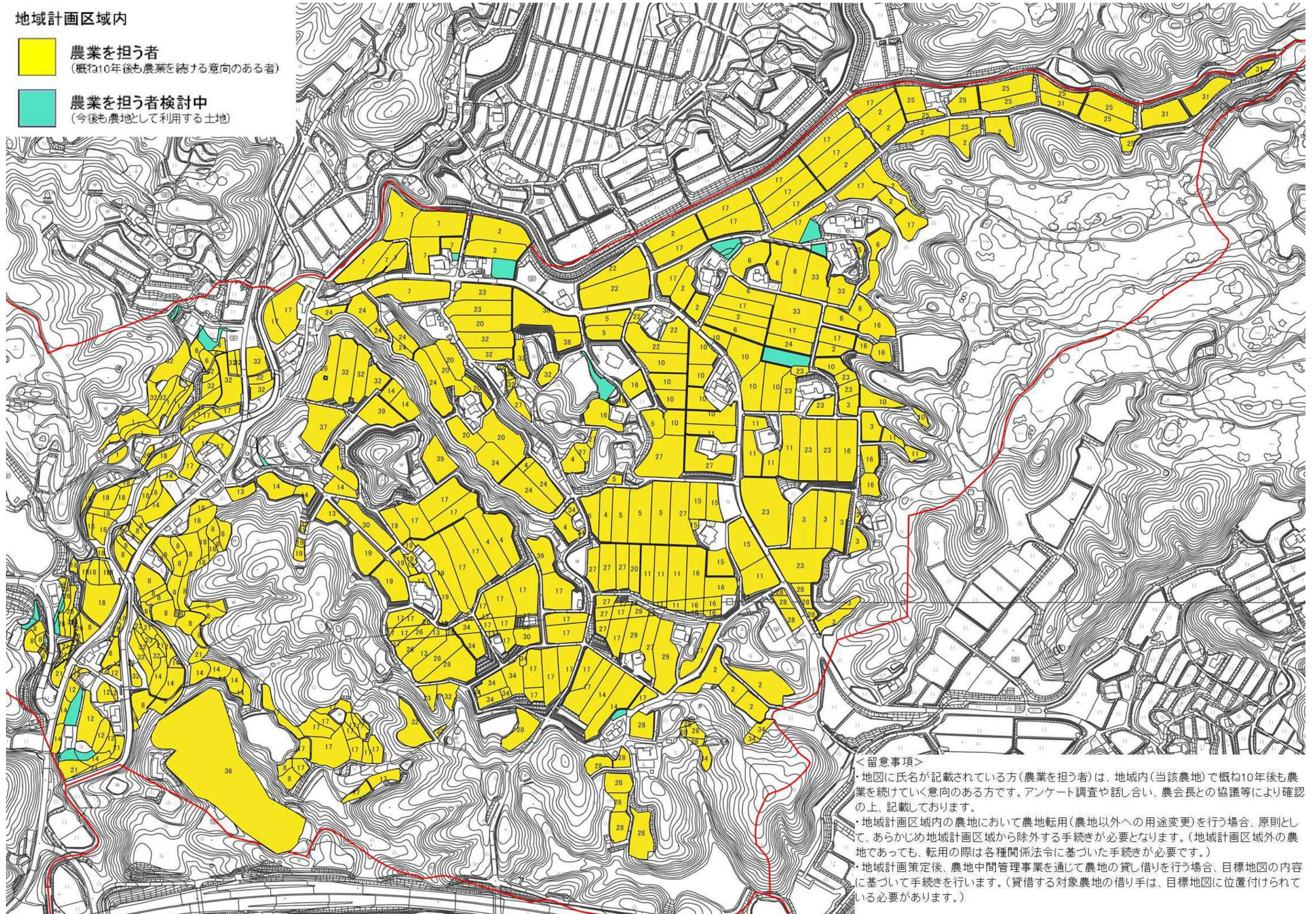
4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和18年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	認農	水稻	31.3 a	a	水稻	31.3 a	a	1	
利用者		水稻	316.2 a	a	水稻	316.2 a	a	2	
利用者		水稻	115.3 a	a	水稻	115.3 a	a	3	
利用者		水稻	88.7 a	a	水稻	88.7 a	a	4	
利用者		水稻 野菜	133.0 a	a	水稻 野菜	133.0 a	a	5	
利用者		水稻	147.5 a	a	水稻	147.5 a	a	6	
利用者		水稻	195.2 a	a	水稻	195.2 a	a	7	
利用者		水稻	144.4 a	a	水稻	144.4 a	a	8	
利用者		水稻	213.8 a	a	水稻	213.8 a	a	10	
利用者		水稻	178.2 a	a	水稻	178.2 a	a	11	
利用者		野菜 花き	47.2 a	a	野菜 花き	47.2 a	a	12	
利用者		水稻	35.5 a	a	水稻	35.5 a	a	13	
利用者		水稻	187.3 a	a	水稻	187.3 a	a	14	
利用者		水稻	72.0 a	a	水稻	72.0 a	a	15	
利用者		水稻	160.9 a	a	水稻	160.9 a	a	16	
利用者		水稻	838.7 a	a	水稻	838.7 a	a	17	
利用者		水稻 野菜 花き	129.8 a	a	水稻 野菜 花き	129.8 a	a	18	
利用者		水稻	114.3 a	a	水稻	114.3 a	a	19	
利用者		水稻	121.9 a	a	水稻	121.9 a	a	20	
認就		野菜	32.1 a	a	野菜	32.1 a	a	21	
利用者		水稻	105.4 a	a	水稻	105.4 a	a	22	
利用者		水稻 野菜	245.6 a	a	水稻 野菜	245.6 a	a	23	
利用者		野菜	143.5 a	a	野菜	143.5 a	a	24	
利用者		水稻	137.2 a	a	水稻	137.2 a	a	25	
利用者		水稻	57.6 a	a	水稻	57.6 a	a	26	
利用者		水稻	199.1 a	a	水稻	199.1 a	a	27	
利用者		水稻 花き	176.0 a	a	水稻 花き	176.0 a	a	28	
認就		水稻 花き	54.5 a	a	水稻	54.5 a	a	29	
利用者		野菜	33.2 a	a	野菜	33.2 a	a	30	
利用者		水稻	58.0 a	a	水稻	58.0 a	a	31	
利用者		水稻	225.4 a	a	水稻	225.4 a	a	32	
利用者		水稻	67.0 a	a	水稻	67.0 a	a	33	
利用者		水稻	66.0 a	a	水稻	66.0 a	a	34	

地域計画区域内

農業を担う者
(概ね10年後も農業を続ける意向のある者)

農業を担う者検討中
(今後も農地として利用する土地)



<留意事項>
・地図に氏名が記載されている方(農業を担う者)は、地域内(当該農地)で概ね10年後も農業を続けていく意向のある方です。アンケート調査や話し合い、農会長との協議等により確認の上、記載しております。
・地域計画区域内の農地において農地転用(農地以外への用途変更)を行う場合、原則として、あらかじめ地域計画区域から除外する手続きが必要となります。(地域計画区域外の農地であっても、転用の際は各種関係法令に基づいた手続きが必要です。)
・地域計画策定後、農地中間管理事業を通じて農地の貸し借りを行う場合、目標地図の内容に基づいて手続きを行います。(貸借する対象農地の借り手は、目標地図に位置付けられている必要があります。)